

I 小学部運動会（10月20日）

○ 天気はよかったけど

10月20日、令和6年度小学部運動会（知的障害教育部門・肢体不自由教育部門）が開催された。20日の佐世保市内の天気予報は「晴れ」だったが、前日から強い風が吹き荒れ、テントの設置や競技の変更について当日の朝から検討することを前日の夜に決めた。

朝から天気は回復していたが（前日は雨）やはり強い風が吹いていた。早朝から運動場で職員がテントの撤去、飛ばされそうなコーンの撤去、ライン引きなど、子供たちが安心して競技や演技ができるように臨機応変に取り組んでくれた。

時折、強い風が吹いたが、競技や演技の内容を大幅に変更することなく、実施することができた。

○ 伝わる

知的障害教育部門は運動場で、肢体不自由教育部門はプレイルームで競技や演技を実施した。競技や演技で子供たちが笑顔になると、先生たちが笑顔になり、観客も笑顔になり、子供たちが元気いっぱいに取り組むと、先生たちが元気になり、観客も元気になっていた。

子供たちが見せる笑顔で元気いっぱいの姿は、とても魅力的で周囲の大人に伝わっていくものだと感じた。

子供たちの力いっぱいの競技や演技に保護者の温かい声援、励ましの応援と称賛の拍手でいっぱいの運動会となった。

○ 保護者の自己肯定感

「前よりもよかったばい」という保護者の声が聞こえてきた。学校行事は、我が子の成長に喜びを感じることができる瞬間がつまっているのかもしれない。私も子供を育てている保護者の一人。子育てには日々不安や悩みが付きないが、子供の成長を実感する瞬間が保護者の自己肯定感を育てているのかもしれない。きっと子供の成長を実感する瞬間が、写真や動画に収められていたり、目に焼き付いていたりしていることだろう。